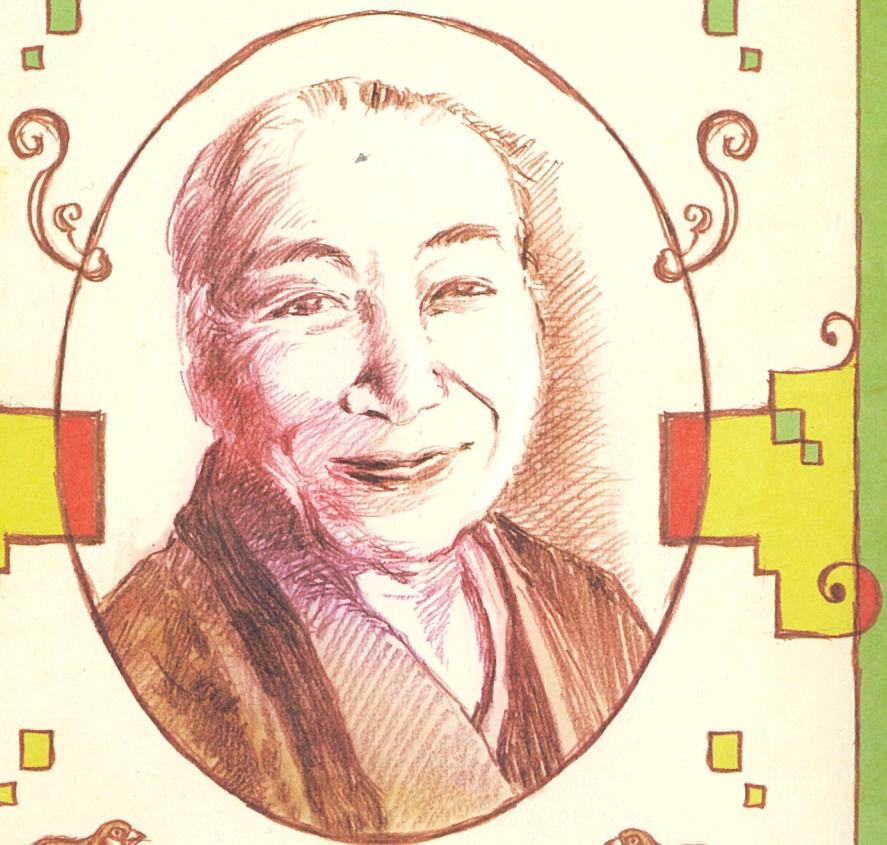


ちば しょうぞう

# 千葉省三って知ってっかい？



Chiba Shozō

1892 - 1975



## 発刊の辞

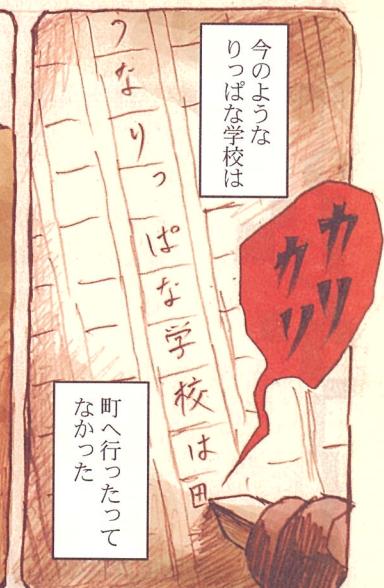
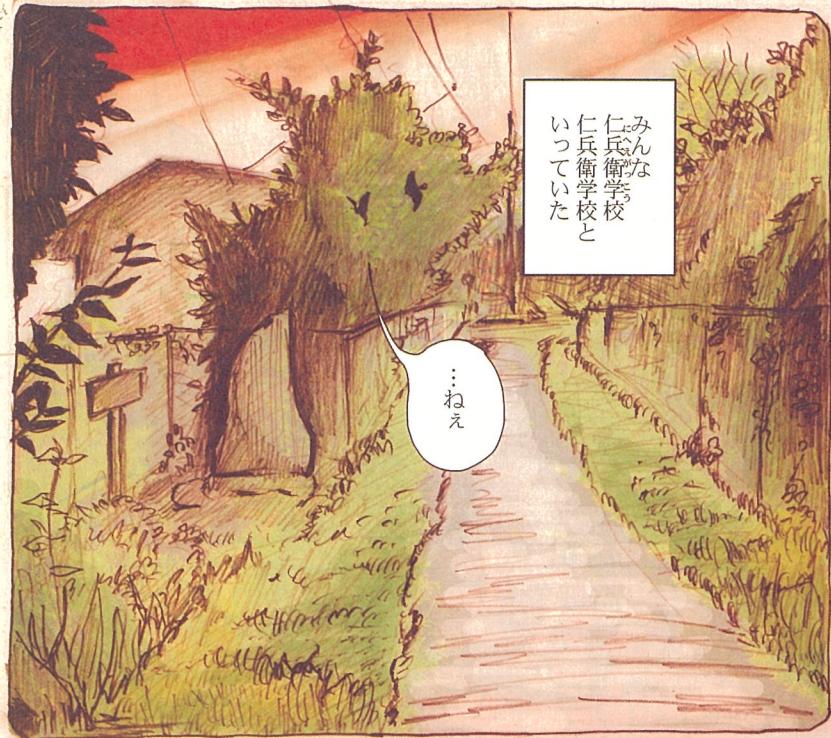
平成27年秋、新しい南押原コミュニティセンターに、千葉省三記念館が併設されます。これを機に、千葉省三をより多くの皆さんに知っていただき、省三文学作品のすばらしさを全国に、また次の世代に発信していこうと考えました。

そこで南押原地区コミュニティ推進協議会が中心となって、文星芸術大学の協力をいただき、ここにまんが「千葉省三って知つてつかい?」を発刊することにいたしました。

この本は、省三の代表作「仁兵衛学校」を題材に、同大卒業生で新進気鋭の漫画家、染谷深月さんのペンにより、その作品世界を表していただいたものです。小さな本ですが、本誌によって皆様を千葉文学の世界へとお誘いできましたら、関係者一同、喜びとするところです。

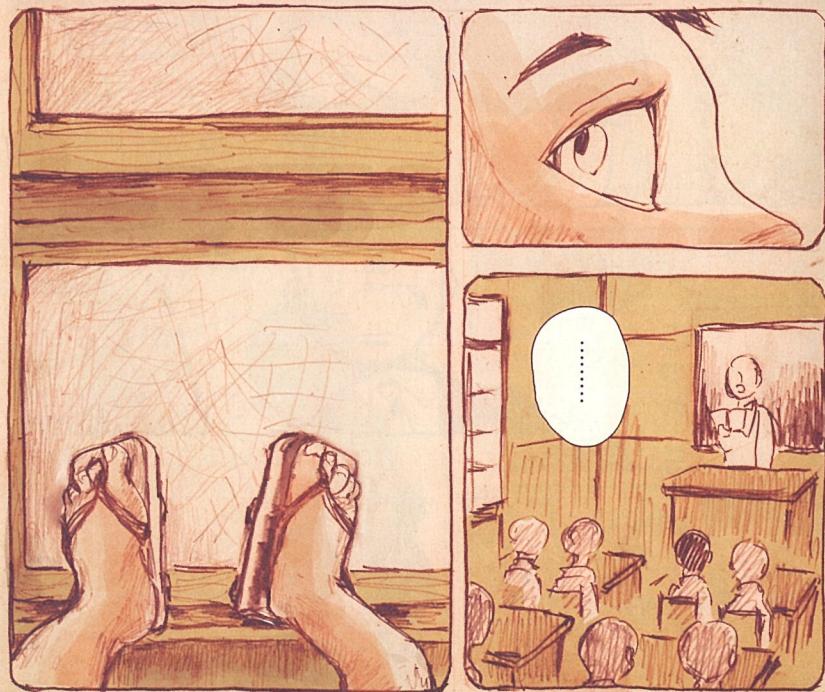
平成27年10月1日

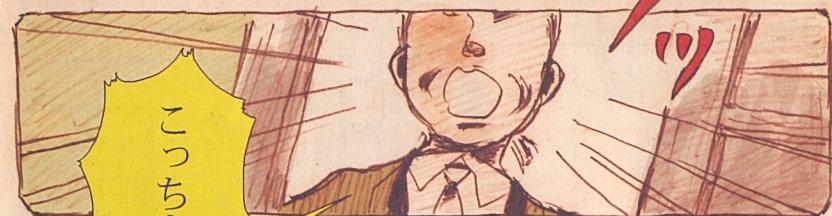
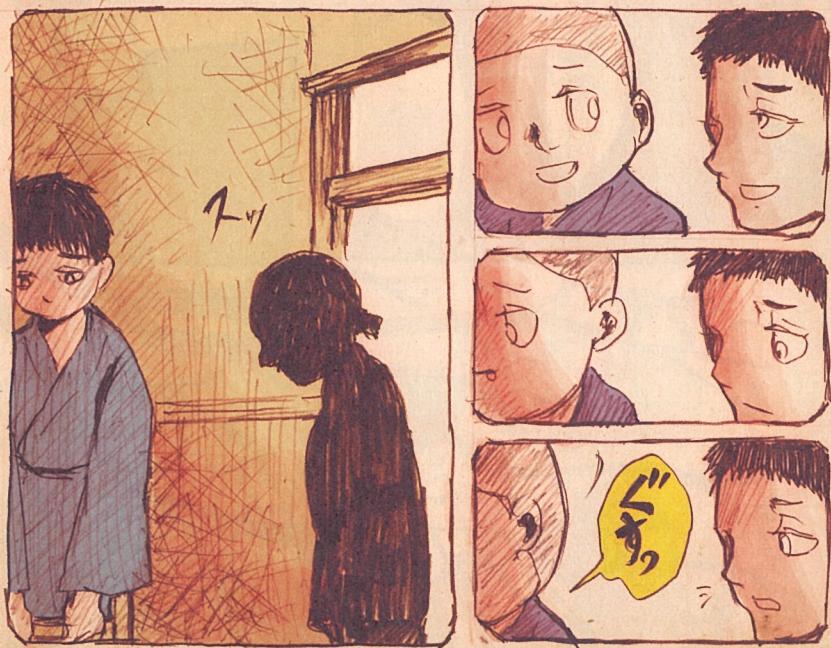
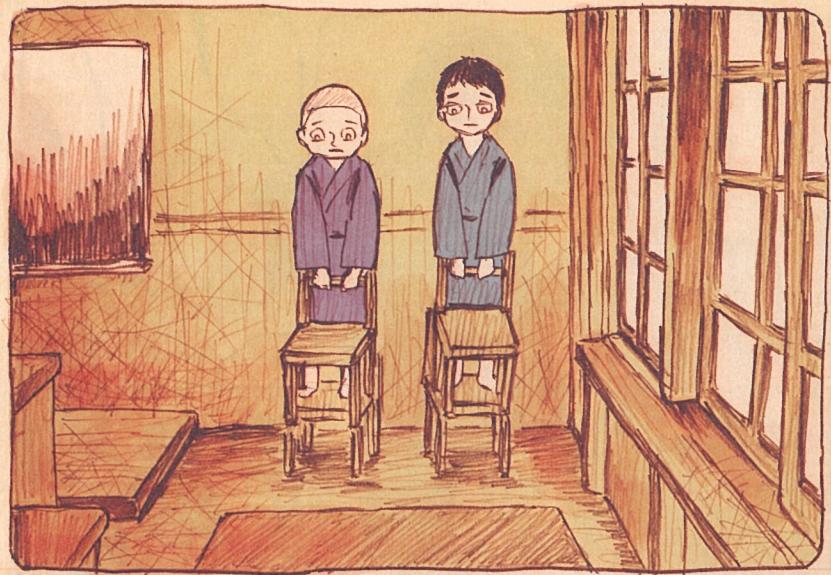
南押原地区コミュニティ推進協議会 会長 鈴木節也

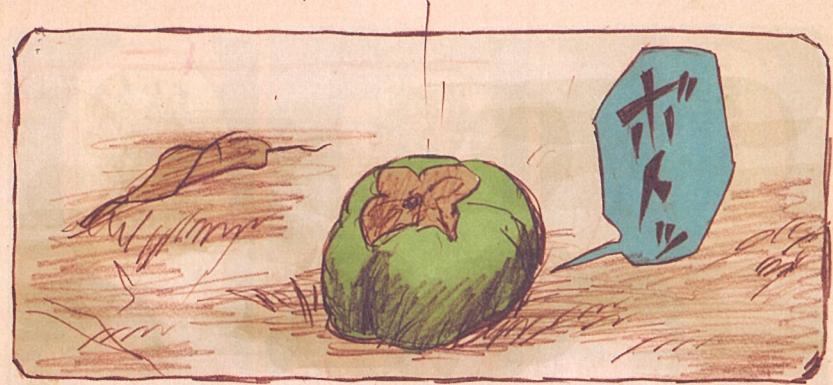


今のような  
りっぱな学校は







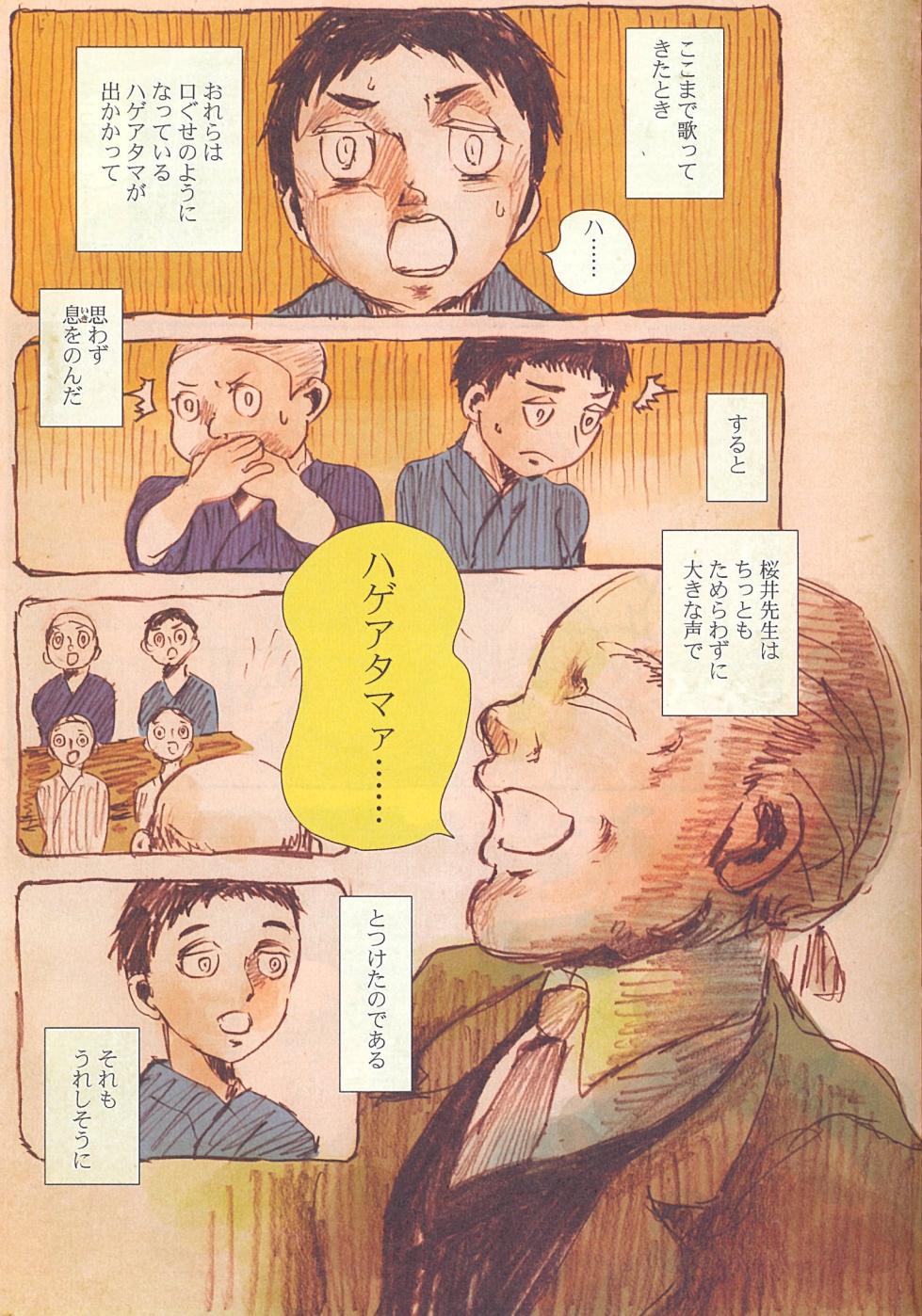


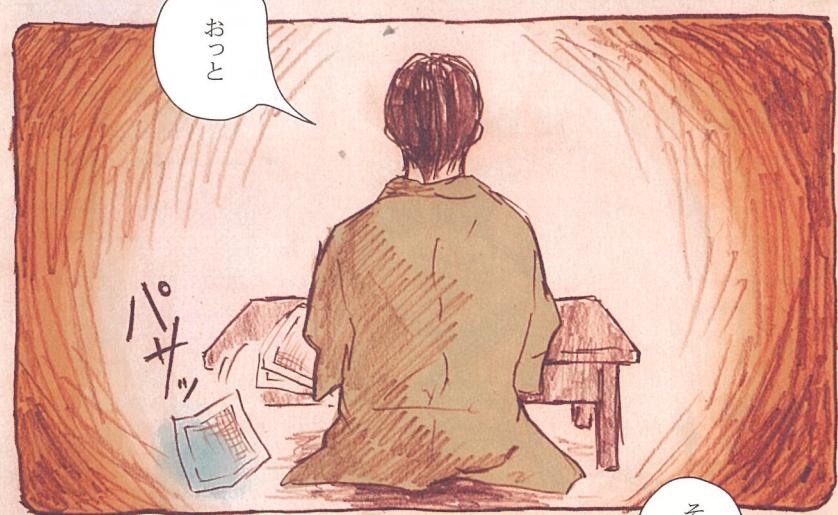
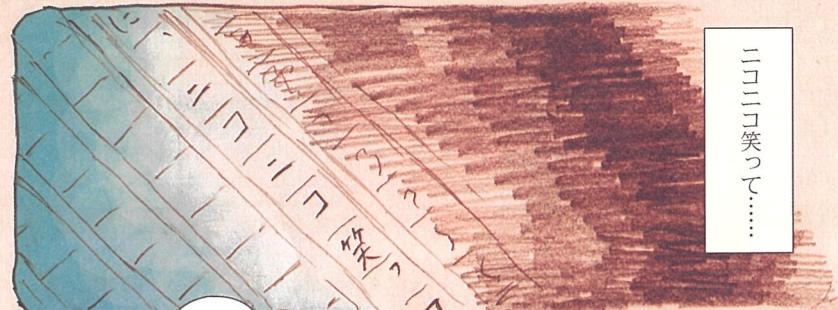
卒業式のとき

桜井先生は  
こんどあたらしい  
学校ができるので  
仁兵衛学校も  
今月かぎりで閉校に  
なることを知らせた

それから







## 千葉省三について

千葉省三（ちば・しょうぞう）は、明治25年12月12日、河内郡篠井村（現宇都宮市）に生まれ、小学校3年の時に榆木尋常小学校に転校、上京するまでの15年間を南押原で過ごしました。

省三の児童童話の中で郷土童話と呼ばれる多くの作品は、省三が育った榆木付近を舞台にして、そこに生きる子供の群像を、栃木の方言を巧みに駆使しながら生き生きと描いています。

「虎ちゃんの日記」「けんか」「井戸」「仁兵衛学校」「みち」「ションベン稻荷」「高原の春」「乗合馬車」「鷹の巣とり」など、リアリズムの手法を取り入れた作品群は、児童文学史上高く評価されています。

## 作画／染谷深月（そめや・みづき）

1991年 生まれ 埼玉県蓮田市出身

2014年 文星芸術大学マンガ専攻卒業

### 受賞・作品

2012年 デジタルマンガコンテスト優秀賞受賞

2013年 鹿沼・ネコヤドポスター作画

2014年 喜連川温泉ポスター作画他

## まんが「千葉省三って知ってっかい？」

2015年10月1日 第1刷発行

著 者 染谷深月

発 行 者 千葉省三記念館管理運営協議会（栃木県鹿沼市榆木町1080）

編 集 南押原地区コミュニティ推進協議会（栃木県鹿沼市榆木町1080）

制作協力 文星芸術大学（栃木県宇都宮市上戸祭4-8-15）

印刷製本 晃南印刷株式会社

非 売 品



